

1 国語に関する調査

【特長】

- ・図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。自分の考えを書く活動を繰り返し行っているため、力が付いてきている。
- ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことや時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。

【課題】

- ・目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けることに課題がある。学習の中で資料を活用して考える機会を増やしていく。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。漢字の意味を理解して使用できるように、同音異義語などの学習にさらに取り組む必要がある。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見だし、数量を求める問題の正答率が高い。数量関係について、解き方を考えたり説明したりする活動を充実させた成果であると考えられる。
- ・ $0.4 + 0.05$ は、 0.01 を基にして、整数の加法と同様に求めるなど、小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えることができる。

【課題】

- ・分数の加法について、通分することで共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述することに課題がある。分数の加法について、加数と被加数の単位分数に着目して、既習の整数の加法に帰着できるのかを考察する活動等を充実させたい。
- ・目的に応じて適切なグラフを選択し、その理由を言葉や数を用いて記述できない児童が多い。グラフを読み取る学習の積み重ねを図りたい。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、変える条件と変えない条件を整理しながら、赤玉土の量と水の量を正しく設定した解決の方法を発想し、表現することができる。

【課題】

- ・身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いていない。学習した知識を身の回りで見られる事物・現象と関係付けたり、様々な内容で習得した知識を整理したりして、学習した知識の定着を図りたい。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・「学校に行くのが楽しい」「友だち関係に満足している」と回答した児童の割合が高い。引き続き学校目標「友だちいっぱい 夢いっぱい」を目指した学級経営や児童指導を行っていきたい。
- ・「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」と答えた児童が多い。引き続きキャリア教育の充実を図っていきたい。

【課題】

- ・「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができない」と回答した児童が多い。身に付けたことを生活の中で活用できる場面を増やす必要がある。
- ・「新聞を読んでいない」と回答した児童が多い。朝の読書活動や各教科の学習で、学級文庫や学校図書館を利用する、新聞を活用した学習を取り入れるなどして、活字に触れる機会を増やしていく。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・ＩＣＴ機器を効果的に活用しながら、児童が主体的に課題を解決する力を身に付けることができるような授業づくりを、今後も継続していく。
- ・学校生活の様々な場面で、自分のよさに気づき、よりよい学校生活にしていこうとする気持ちや実践力を育む。
- ・一人ひとりのよいところを認め、できないところは一緒に考え、児童に寄り添いながら支援を続けていく。
- ・学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決する経験を重ねることで、いじめを許さない雰囲気づくりに努めていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・「朝食を毎日食べている」「毎日、同じ時刻に起床・就寝している」と回答した児童が多くいます。一日の生活リズムを作る大切な習慣ですので、今後も継続できるようお願いします。
- ・児童が読書に進んで取り組めるように、図書館に行く機会を設けたり、家庭で読書の時間を作ったりするなど、読書への興味・関心を高めるような働きかけをお願いします。
- ・今後とも家庭・地域・学校で連携しながら、地域の行事への参加や地域の方々とのふれあいなどを通して、児童を育てていきたいと考えています。ご協力をお願いします。